

令和4年度 第1回日立市行財政改革推進会議について

1 日 時 令和4年7月6日(水) 午前10時から午前11時50分まで

2 場 所 日立市役所 研修室

3 出席者

(1) 委員

平田委員長、泉副委員長、村上委員、稲川委員、弓野委員、加古委員、鈴木委員

(2) 事務局

(総務) 渡邊部長、佐藤次長、瀬和企画員

(行) 片岡課長、鈴木副参事、日下部主幹

4 会議内容

議題(1) 副委員長選出

【事務局】 事務局案により、副委員長に泉委員を選出した。

議題(2) 行財政改革大綱(第8次計画)の令和3年度推進状況について

【事務局】 — 総括部分(P1～P13)を資料に基づき説明 —

発言者	発言内容等
【No.27 市営住宅の管理戸数の適正化(継続)】	
委員	入居者が退去する場合、スムーズに転居できるよう何か工夫していることはあるか。
事務局	転居先の市営住宅を調整したり、転居費用を一部保証したりするなど、退去に際し極力負担がないよう努めている。
【No.28 防災拠点倉庫の確保等】	
委員	課題にある「旧臨港消防署久慈出張所の放射線防護対策工事資材倉庫(令和5年2月末予定)との調整」とはどういうことか。また、避難所となるのか。
事務局	原子力発電所で事故が発生した場合の近隣住民の避難施設として、南部支所に放射線防護対策工事を実施する。その際に、隣接する旧臨港消防署久慈出張所を備蓄倉庫として使用するため、南部支所の工事に合わせ、同時に供用開始できるよう調整している。 旧臨港消防署久慈出張所は、あくまでも備蓄倉庫であり避難所の機能はない。
事務局	なお、現在、各避難所には3日分の備蓄品を備えているが、国の指針が7日分に変更となったため、各避難所の倉庫に入りきらない4日分を備蓄する防災拠点倉庫が必要となった。4日以上避難が必要な場合は、不足分を防災拠点倉庫から補充することとなる。 推進事項の防災拠点倉庫の確保については、北部地区は旧十王調理場に、南部地区は旧臨港消防署久慈出張所に確保し、本庁地区の拠点は現在模索しているところである。

発言者	発言内容等
委員長	放射線防護対策は、どこの避難所でも実施しているのか。
事務局	東海原子力発電所から10キロ圏内の避難所については、国の補助を受け放射線防護対策を施し、避難が困難な避難行動要支援者の7日分の備蓄品を用意している。現在、2か所の避難所が放射線防護対策済みであり、今年度工事を実施する南部支所も含めることで、市が把握する避難行動要支援者の人数分を確保する。また、入院、入所施設（病院、特別養護老人ホームなど）についても、放射線防護の対策が進められている。
【No.36 日立駅前のにぎわいづくりの推進】	
委員	日立駅は市外・県外の方に立派だと大変喜ばれるが、駅前におすすめスポットがなく寂しく感じる。若い方たちの意見やアイデアを取り入れ、活気のあふれる街にしてほしい。
事務局	イトーヨーカドー日立店が撤退してから、にぎわいを取り戻そうと入居者を模索しながら、イベントや臨時店舗等であつないでいる状況である。また、「ひたち若者ががやき会議」を設置し、若者の視点でひたちの街を活性化させる取組を実施している。
委員	日立駅前活性化委員会の委員でもあるが、こちらの委員会でもプロジェクトを開始するなど、イトーヨーカドー跡地への誘致を積極的に進めている。以前新聞に日立駅前の買い物難民の記事が掲載されたが、今後は単に買い物をする場だけでなく人が集う場所を目指し検討を進めている。
委員	イトーヨーカドー日立店閉店後、周辺の人の流れがなくなったように感じ、非常に寂しく思う。今は我慢の時期かもしれないが、市もにぎわい創出に向けた取組を進めているということなので、期待したいと思う。
【No.40 救急車の適正利用の啓発（継続）】	
委員	救急車の適正利用に関連して、精神疾患のある人は救急車を利用できないケースがある。その場合、水戸から数万円かけて移送業者をお願いする。また、急を要する場合に救急車を利用できたとしても、精神疾患があると病院から受入れを拒否されることもある。もっと精神疾患への理解を深め、障害があっても住みやすい街にしてほしい。
委員長	最近「インクルーシブ」という言葉を耳にするが、実際に行動に移すことは難しいと感じる。地道な啓発活動で市民の意識を変えていくと同時に、先の「日立駅前のにぎわいづくり」を考えると、そういった問題こそ街なかで進めることで、障害のある方も一緒に交流できるにぎわいづくりが今後は求められると思う。 ※ インクルーシブ 「包摂的、包括的」の意味。「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」からきており、「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支えあう」という理念を表す。

発言者	発言内容等
委員	<p>日立市の人口は減少しているが障害者の数は減っていない。今後、障害者の割合はますます高くなると思う。駅前に若者や障害者、高齢者など様々な方が集まれる施設があると、他市町村とは異なる特色を生み出せると思う。</p>
<p>【No.41 住宅用火災警報器の設置率の向上】</p>	
委員	<p>令和2年度と比較して、住宅用火災警報器（住警器）の設置率が向上している一方で、火災発生件数が大幅に増加している要因は何か。また、火災が発生したケースは、火災警報器が設置済みだったのか。</p>
事務局	<p>設置率は抽出した世帯に対する設置状況によって算出しており、火災発生件数のうち火災警報器設置の有無は把握しておらず、直接的な因果関係は不明である。</p> <p>【担当課確認回答】</p> <p>住宅火災17件（住警器設置義務対象外の物置等火災3件を除く。）のうち、住警器設置済件数：8件</p>
委員長	<p>調査した120件は無作為抽出か。</p>
事務局	<p>担当課所に確認して報告させていただく。</p> <p>【担当課確認回答】</p> <p>住宅用火災警報器設置状況調査は、国（消防庁）の調査方針に基づき毎年実施している。調査方法は以下のとおり。</p> <p>①調査方法：消防職員が訪問し、日立市火災予防条例に基づく住警器の設置の有無等を調査</p> <p>②調査対象世帯：120世帯（20,000世帯以上の自治体は96世帯以上）</p> <p>③調査世帯の決定方法：無作為抽出</p> <p>※ 日立市は、4地区の消防署（日立、多賀、南部、北部）がそれぞれ30件を無作為抽出し訪問・調査</p>
<p>【No.49 子どもと子育て家庭への切れ目ない支援の推進】</p>	
委員	<p>待機児童は解消されているのか。</p>
事務局	<p>年度初め（4月から）の入園については、待機児童は解消されている。年度途中の入園は、希望する園との調整もあり待機児童となる場合もある。</p>
委員	<p>年度途中でも保育園に入園できるよう対応してもらいたい。</p>

その他

発言者	発言内容等
【BRTについて】	
副委員長	<p>山側団地、特に金沢団地は高齢化率が50%を超えていて、バスに乗って買い物に行く人はほとんどいない。そこで、昨年グリーンスローモビリティの実証実験を行い4カ月で500人の利用があり、高齢者にとって有効な移動手段であると認められた。実証実験では、金沢団地集会所を中心に交流センターや学区内のスーパー等への移動支援を行った。</p> <p>今後は、区域外へ少し運行距離を伸ばし、BRTと併用できるようにするなど行動範囲を広げることで、多賀地区（駅前）のにぎわい創出や人の流れの向上に寄与したいと考える。</p> <p>※ グリーンスローモビリティ 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス。</p>
委員	<p>BRTの利用者が通勤・通学の時間帯以外は極端に少ないように感じる。市民の利用増加のため、障害者や高齢者向けの割引など、利用しやすい仕組みを検討してはどうかと思う。</p>
副委員長	<p>BRTは良いものが出来たと感じているところだが、せっかく良いものを整備したのだからもう少し普及するよう利用促進に向けた取組をお願いしたい。</p>
事務局	<p>市としても現状の利用者数について認識しているところであるが、BRTの運行は民間企業にお願いしていることや、公共交通機関として国土交通省に運賃の許認可を受けて運営していることもあり、利用者にとって魅力的な運賃とするには、クリアしなければならない課題がある。</p> <p>日中の利用者が少ないことや、働く方は車利用がほとんどで、公共交通機関を利用した人の流れが少ないといった課題も認識しているため、担当課に最適化に向けた検討を進めて欲しいという意見があったことを伝えたい。</p>
委員長	<p>日立市のBRT自動運転の実証実験や高萩市のダイナミックルーティングの実証実験など、県北地区は新しいチャレンジをしているように見受けられるが、日本全体を見ても地方の車依存率は高く、公共交通機関と車の利便性を比較したときに、運賃の安さだけでは解決できない課題もあるだろう。</p> <p>※ ダイナミックルーティング AI（人工知能）を利用して、利用者の予約状況に合わせてバスの運行経路やダイヤを最適化する交通サービス。利用希望者が専用アプリや電話で、希望する出発地と目的地などを指定して乗車予約すると、他の乗客の予約内容や道路混雑状況に合わせて、AIが最適な運行ルートやスケジュール（ダイヤ）を設定する。</p>
【進捗状況について】	
委員長	<p>第8次計画については、86%が順調に進んでおり、計画より遅れている推進事項も半分がコロナによる遅延ということで、全体的におおむね順調に進んでいると思う。</p>

議題 (3) 行財政改革大綱 (第9次計画) の方向性について

【事務局】 — 第9次計画の方向性を資料に基づき説明 —

発 言 者	発言内容等
【第9次計画へのご意見・要望】	
委 員 長	<p>第9次計画の方向性の説明を受けて、市職員がチャレンジ精神をもって行財政改革に取り組むという職場環境の醸成やマインドチェンジを感じ、方向性については良いと思う。民間企業も大学も役所も同じで、その組織にいる個人が自分事として気概を持って全うすることが大事だと思う。職員提案制度などを活用して市職員が生き生きと働くことが、ひいては今日お話のあった様々な課題の解決につながるのではないかと考える。</p>
委 員	<p>第9次計画がどんな理念になるか楽しみである。また、市政の情報発信に関する項目があってもいいのではないかと。日立市はPRが足りないと言われるが、クラウドファンディングが募集額を超過したのは、県外・市外からの興味・関心があるからだと思う。是非日立市の良いところをもっと発信してもらいたい。</p>
委 員	<p>第9次計画では、取組が市民に分かりやすいよう、定量的な目標を数値化するとあるので、是非分かりやすい公表をお願いしたい。また、前はパブリックコメントの件数が少なかったと記憶している。今回は、市民に興味関心を持ってもらい、たくさんのパブリックコメントが届くよう広報してもらいたい。</p>
委 員	<p>特徴のある街は、役所の職員が情熱をもって取り組んでいる印象がある。日立市の職員も実践していると思うが、もっと地域の話聞きながら行政と市民が一体となって取り組むことが大事だと思う。</p> <p>常陸多賀駅で実施したゴミ拾いイベントに参加したが、子供からお年寄りまで一緒に目的をもって交流するイベントがあることで、市政や街づくりに市民が積極的に参加するきっかけになり、良い効果が生まれるのではないかと考える。</p>
委 員	<p>第9次計画は、まんべんなく取り組むのではなく、選択と集中によりやるべきことに取り組む方針は良いと思う。具体的な取組を絞り込むことは難しいと思うが、例えば、人口減少問題については、若者ばかりに目を向けるのではなく、お年寄りに優しい街づくりを進めることで家族の定住やUターンにつながることも考えられる。様々な側面から考え検討してもらいたい。</p>
委 員	<p>市の情報はホームページが頼りであるが、コロナ禍におけるワクチン接種の情報や公共施設の休館日の情報など、知りたい情報の公開が遅いことがある。第9次計画の柱として記載されている「行政の見える化」や「情報発信力の強化」は市民にとって大切なことだと思うので、是非推進してほしい。</p>
副 委 員 長	<p>コミュニティ推進協議会の立場から行政との連携を大事にしているが、行政の考え方や計画を知らせるため、交流センターに人を集めて周知徹底していける形をとってほしいと思う。</p>

【事務局】

本日いただいた意見を踏まえて、市長以下各部長で構成する行財政改革推進本部会議で協議した後、市議会へも報告して意見をいただく。

また、今回の会議の議事録については、ホームページで公表予定のため、事前に公表内容を各委員に確認していただく。

以 上